



浄土宗平和協会 平和念仏募金による事業支援 IMADR 報告書
ネパール ダリット女性の保健教育プロジェクト



2012年度 活動報告

(2012年4月～2013年3月:4ヵ年事業中第2年度)

申請主体：反差別国際運動(IMADR)

実施主体：フェミニストダリット協会 (FEDO) パルサ支部

2013年3月

3. 添付資料：活動報告

はじめに

本事業の目的

- * ダリット女性や周縁に追いやられた女性たちがネパール社会の他の女性たちと同じように平等な保健サービス（リプロダクティブな保健サービスを含む）へのアクセスを持つようにする。
- * ダリット女性が自分たちの状況と、安全で衛生的な生活の必要性について認識するようにする。
- * ダリット女性に保健に関する権利について知らせる。

要約

FEDO のパルサ支部は FEDO 本部の協力をえながら、本プログラム“ダリット女性の保健への平等なアクセス”を、2012年4月から2013年3月の期間にパルサ郡シュリシア村とビルガンジ町において実施した。女性たちは、疾病、栄養管理、予防接種について意識を高め、プライマリヘルスや幼児結婚、一夫多妻、DV、出生届け、市民権や婚姻届について学んだ。

パルサ郡で目標としたすべての地域で FEDO 女性グループが結成された。現在、22町と5村に27のグループが存在し、グループ活動に1,428人の女性が関わった。グループは住環境における衛生問題や母子保健についてトレーニングを受けた。タライ地域で一般的な慣行となっている幼児婚や低年齢出産が母子の健康にもたらすリスクについて学んだ。コミュニティにおいてこの重要な情報をさらに広げていかななくてはならない。全体的にみて、プロジェクトは順調に進み、反応もよい。軌道にのって発展することを願っている。

活動

	活動内容	回数	現状
1	ダリット女性グループ動員、強化、促進	常時	終了
2	行政機関との調整/ロビー活動	7	終了
3	衛生意識高揚大衆集会	2	終了
4	衛生管理と基礎医療のトレーニング	1	終了
5	基礎保健と思春期トレーニング	1	終了
6	予防接種と栄養管理のトレーニング	1	終了
7	政府保健施設利用のためのプログラム	1	終了
8	安全な母性と子どもの乳幼児保健のトレーニング	1	終了
9	地区のモニター活動	6	終了
10	中央本部からの支部への訪問	2	終了

活動内容

1. ダリット女性グループ動員、強化、促進

合計 27 グループ（町 27、村 5）1,428 人の 受益者が参加した。女性グループは月例ミーティング、貯蓄と貸付などを行った。女性グループのメンバーには地元の保健所が提供しているサービスや、地元レベルのサービス提供者との関係構築に関する情報を提供した。

3. 添付資料：活動報告

2. 行政との調整会議/ロビー活動

FEDO スタッフと赤十字地域保健事務所 AIDS 調整委員会、地域獣医師会、マイチネパールおよび地元記者とのミーティングである。最初のミーティングは6月1日に開かれた。プロジェクトの実施について議論をした。政府および関係機関の代表が FEDO の活動に協力することを約束。行政機関との定期的な会合は相乗効果をもたらすことが分かった。2 回目のミーティングはプロジェクトの成果について話合った。

行政機関へのロビー活動政機関に圧力をかけた。赤十字事務所、子ども福祉委員会、地区保健サービスはダリット女性にあらゆるサービスを提供し、調整に協力すると約束した。定期的な調整会議は自治体の事務所で開かれ、プロジェクトの効果的实施と持続可能性を目指す。

3. 衛生意識高揚大衆集会

地区の保健所と FEDO は合同で”質の高い保健サービス、私たちの誓い”のスローガンのもと、パルサにて集会を開催した。保健と衛生の重要性についてダリット女性たちに講義を行った。合計 74 人のダリット女性が参加した。同じく、世界 AIDS デーに同様の集会を開催した。

4. 衛生管理と基礎医療のトレーニング

衛生管理に関する 2 日間のトレーニングを開催し、衛生、保健全般とプライマリ・ヘルス、病気の原因、伝染病、水系伝染病、感染拡大防止方法について授業を行った。トレーニングの結果は顕著であり、女性たちは身の回りや家の近所をきれいにし始めた。参加者は 40 人であった。

5. 基礎保健と思春期トレーニング

トレーニングの主な目的はダリット女性に基礎保健と思春期について教育することである。トレーニングの内容は保健全般と基礎保健、思春期における青少年の行動変化、子どもの思春期に関する親の役割などに関するものであった。このトレーニングの参加者は 34 人のダリット女性で全員一つのグループのメンバーであった。

6. 予防接種と栄養管理のトレーニング

FEDO は予防接種と栄養管理に関する 3 日間のトレーニングを行った。42 人の女性が参加した。参加者は予防接種について、何歳にどれを接種すればよいのかも学んだ。地域の公立病院の担当保健師たちがトレーナーとして教えた。トレーニングは新聞でニュース報道された。

7. 政府保健施設利用のためのプログラム

政府の保健施設に関するワークショップを行い、保健政策、プログラム、計画、ダリットやダリット女性が利用できるサービスについて学んだ。地元の役所の担当者が講師として招かれた。保健の分野においてダリット地区だけに提供されている特別なサービスについて説明があった。地区レベルでのヘルスキャンプ（巡回健康相談）を行った。栄養管理回復センターでは母子に 3 か月間無料で栄養化の高い食事を提供した。その後、栄養管理回復センターは 2 人の栄養不良の子どもにリハビリテーションプログラムを提供した。

8. 安全な母性と子どものヘルスケアのトレーニング

トレーニングの主な目的は産婦死亡率、出産率、乳幼児死亡率をどのようにして抑えるかについてであった。41 人のダリット女性が母性、特別な健康上のニーズ、妊娠期間、保健への権利、保健関連の法律、リプロダクティブヘルス、家族計画などに関するトレーニングを受けた。このトレーニングのあと、地元の保健施設を利用する女性の数が増えた。

3. 添付資料：活動報告

9. 地区のモニター活動

プロジェクトの効果的実施のために、支部レベルで理事および専従者が定期的にモニターを行った。モニターの結果、プロジェクトにより女性の能力が向上し、声を出して問題を指摘し、家の中をきれいにし、トイレの後の手洗いを慣行するようになったなどの効果が見られた。トレーニングを受けた女性たちは、家族や近所の人びとにそれを教えた。

10. 中央本部から支部への訪問

FEDO 中央本部チームによるモニターが 2 回行われた。中央本部チームは支部のグループメンバーたちが自分たちの課題について認識し、保健の権利について意識を高め、行政サービスを要求できるようにエンパワーされたことに感銘を受けた。貯蓄を習慣づけるようになった女性たちが何人もいた。石鹼による手洗いを習慣づけるようになった女性たちもたくさんいた。家族計画として避妊具をとり入れるようになった女性たちもいた。フンタ・プラサとして知られている“女性が着衣で顔を隠す”習慣がある程度なくなり、女性たちは外でオープンに話ができるようになった。

その他の活動(計画外)

1. 本プロジェクト実施において、地区プロジェクトコーディネーターは、HIV/AIDS やその他の性感染症にかかっているダリット家族が、特にインド国境付近を中心に多数あることを発見した。地区 AIDS 委員会と協力して、FEDO は HIV/AIDS に関する 2 日間の研修を行い、15 人の女性が参加した。研修は原因と予防、それに感染の有無を調べる方法（地域の公立病院が無料検査をしている）をとりあげた。
2. 地区プロジェクトコーディネーターは、その他にも HIV/AIDS に関する注意喚起の取り組みをいくつか行った。参加者の記録はないが、推定計 60 人から 80 人の女性が参加した。今後は記録をつけるようにする。
3. 3 つの女性グループにグループの貯金箱を提供した（貯金は将来お金が必要となるグループメンバーに貸し付けるため）。パルサ地区の女性グループは協同組合を開始した。地区の協同組合事務所は女性グループに協同組合の経理と運営に関する 6 日間のトレーニングを提供した。
4. もう一つの想定外の結果がプロジェクト実施直後に行った調整会議より出てきた。そのミーティングの後、地域の高校の校長が Prativa Devi Paswan（一つの女性グループの委員長）に学校の 8 年 9 年 10 年を修了するよう奨学金を提供した。ダリット女性の教育水準が非常に低い中、これは非常に歓迎すべきことである。

課題

- ◆ タライ地区でこの 6 ヶ月間多数のストライキが行われた。そのため、予定通りに計画を実施することが容易ではなかった。
- ◆ 性感染症が女性に広がったため、夫が妻に乱暴を働くようになった。
- ◆ 女性たちは早婚と出産時の問題との関連性を認めがたらない。早婚が当たり前になっており、出産時の合併症を伴う率が尋常ではないほど高いタライ地区において、これは重大な問題である。
- ◆ 本プログラムを実施している地域にはゴミ収集や下水掃除の公共サービスはない。女性グループは FEDO にトイレやゴミ箱を提供するよう要請したが、FEDO にはそれを行う資源はない。FEDO の地区プロジェクトコーディネーターはパルサ村落開発委員会（DVC、村役場）にこれら設備を提供するよう要請する考えである。

3. 添付資料：活動報告

成 果

- ◇ 受益女性の人数は FEDO 地方グループ 27 の 1428 人である。27 グループの内訳は 22 が市町に、5 グループが VDC(村落委員会) 1428 人の受益者のうち、直接的受益者は 357 人、間接的受益者は 1071 人。
- ◇ 女性グループは月例ミーティングをもち、貯金、貸付、動員などについて話をしている。
- ◇ 地区の畜産事務所は山羊 1 頭を提供してくれた。
- ◇ ロビー活動は、地区保健所、地区開発委員会および市町村である。
- ◇ 地区保健所は FEDO の性感染症に関するキャンペーンに 11,000 ルピーの助成金を提供してくれた。
- ◇ FEDO 支援のため、地区保健所は 5,000 個のコンドームを配布してくれた。
- ◇ ダリット女性のエンパワメントのため、自治体政府は研修用として 10 万ルピーの助成金を提供してくれた。
- ◇ 出産のために病院に行く女性が増えた。
- ◇ 乳幼児が適切な年齢で予防接種をうけるようになった。
- ◇ 夫婦は家族計画の重要性に気づき、避妊具を使うようになった。
- ◇ アジア銀行の支援で、市町村はダリット女性の発展に関するプログラムを実施した。FEDO のメンバーはそのプログラムの実行委員となった。
- ◇ FEDO と生協のコーディネーションで、ダリットの地域に 8 つのゴミ箱を設置した。
- ◇ プライマリ・ヘルスサービス記念日に、サンダー・ダリット女性グループは地域のごみを掃除した。FEDO パルサ支部はこのグループの地域に 2 つのゴミの缶を提供した。道路にゴミを捨てたら 50 ルピーの罰金を科すことを地域の人びとは決めた。
- ◇ FEDO と地区の保健所の協力で、2 人の子どもが唇の手術を無料で受けることができた。
- ◇ 火傷で癒着した 2 本の指の手術を無料で受けることができた。
- ◇ 第 25 回世界エイズデーに地域のエイズ予防委員会と協力して集会を開催した。集会のスローガンは” エイズによる死亡をなくす” であった。これは、新たな感染を起こさないことであり、感染者への差別をなくすことも意味した。500 人の集会参加者は家族計画のためのコンドームが HIV 感染予防になることも学んだ。

活動の様様



保健サービスに関する議論



世界 AIDS デーにメンバー参加

3. 添付資料：活動報告



女性エンパワメントの支部集会



家族計画に関するトレーニング 参加者たち



最初の保健サービスデーを記念した集会



シルシャ村グループのミーティング



予防接種と栄養管理のトレーニング



予防接種と栄養管理のトレーニング 参加者

報道記事

FEDO पाल्सा支部主催の予防接種と栄養管理のトレーニングが地元紙で報道される。

